

2018
秋季号

ほっと石川

特集

わが家、わが町の “防災力”を高めよう!

INTERVIEW

マルク・ミンコフスキさん

(オーケストラ・アンサンブル金沢芸術監督)

わが家、わが町の
“防災力”を高めよう! ... 2

石川の空を
ドクターヘリが飛ぶ ... 10

新たなふるさとグルメ
いしかわジビエに舌鼓 ... 12

INTERVIEW
マルク・ミンコフスキさん
(オーケストラ・アンサンブル金沢
芸術監督) ... 14

知事の窓 ... 15

ほほえみ 石川のボランティア
松波ふれ愛会(能登町) ... 15

いしかわ
ジュニアアートステージ2018 ... 16

表紙について

■シリーズ
ふるさと心の風景

鶴仙溪
(加賀市)

山中温泉の温泉街に沿って流れる大聖寺川の渓谷・鶴仙溪。総檜(ひのき)造りのおおろぎ橋から約1.3キロの遊歩道があり、散策しながら赤や黄色に染まった紅葉を楽しめます。俳聖・松尾芭蕉も感嘆した鶴仙溪の美しさをご堪能ください。そして、自然の描く芸術に親しんだ後は、ぜひ県立音楽堂へ。14ページで紹介するマルク・ミンコフスキさんが芸術監督に就任したオーケストラ・アンサンブル金沢の公演など、多彩な芸術で皆さんのお越しをお待ちしています。12月9日には、県内の子どもたちが出演する「いしかわジュニアアートステージ2018」(16ページ)もありますよ。

表紙イラスト制作 / 吉野 武(金沢市在住)

能登地方の大雨では日用川(七尾市)が氾濫し浸水被害が発生



わが家、わが町の “防災力”を 高めよう!

記録的な大雨や台風、地震、大雪などにより、全国的に自然災害が相次いでいます。石川県でも、夏から秋にかけては大雨や台風に見舞われ、家屋の浸水や損壊など、大きな被害を受けました。これら自然の脅威にさらされた時、私たちの生命や財産を守るためには、日ごろから防災についてしっかりと準備しておくことが大切です。皆さんの暮らす家や町の“防災力”について、もう一度、チェックしてみましょう。

8月末の大雨で能登の11河川が氾濫

今年発生した災害で記憶に新しいのが、8月30日から31日にかけて能登地方などを襲った大雨と、県内63万人に避難勧告(7ページ参照)が出された9月4日の台風21号です。8月の大雨では、3時間雨量が七尾市で122.0ミリ、志賀町で92.0ミリと観測史上最大を記録。輪島市でも31日午後4時20分までの24時間で、8月の観測史上最大となる185.5ミリの雨が降りました。この大雨で七尾市の熊木川、日用川など11河川が氾濫し、一時は七尾市・羽咋市・志賀町・宝達志水町で合計8798世帯、2万3766人に避難指示が出されました。住宅の浸水や道路、田畑の冠水なども相次ぎ、鉄道の運休や幹線道路の通行止めなど、県民生活に大きな影響が出ました。

瞬間風速44メートル超金沢で史上最大を記録

そして、9月には台風21号が25年ぶりに「非常に強い(※)」勢力を保ったまま、日本列島に上陸。近畿地方などで記録的な高潮や暴風を引き起こし、県内でも金沢市で瞬間風速44.3メートル、かほく市で34.4メートルと観測史上最大を記録しました。金沢地方気象台では、県内全域に暴風や大雨、沿岸部に波浪や高潮の各警報を出して注意を呼びかけ、一時は県内10市町の合計28万461世帯、63万5973人に避難勧告が出されました。このほかにも、2月には、金沢市で最大積雪が17年ぶりに80センチを超え、記録的な大雪があり、石川・福井県境の国道8号をはじめとした交通網の混乱や農業被害などを招きました。また、国内では6月28日から7月8日にかけて西日本を中心に豪

雨があり、6月には大阪北部の地震、9月には北海道胆振東部地震が発生しました。県では、こうした災害から、皆さんの安全・安心を確保するためにさまざまな防災対策に力を注いでいます。ただ、災害が起きた時、まず求められるのは自分自身や家族を守る「自助」です。そのためにも、日ごろからの防災対策を忘れてはいけません。

※台風の風の強さを表し、最大風速が毎秒44メートル以上54メートル未満の強さ



2月の大雪では車の立ち往生が続発



台風21号では金沢市で瞬間風速44.3メートルを記録



9月の北海道胆振東部地震では最大震度7を観測

8月30日~31日にかけて各地で史上最大の大雨を観測(60分雨量)



雨の強さは、1時間雨量10~20ミリで「ザーザーと降る」、20~30ミリで「どしゃ降り」、30~50ミリで「バケツをひっくり返したように降る」、50~80ミリで「滝のように降る」といったイメージ。20ミリ以上になると傘をさしても濡れ、50ミリを超えると傘は役に立ちません。(気象庁「雨の強さと降り方」より)



浸水被害を想定した防災訓練の様子

アドバイザーの
視点

さまざまなケースを
想定した話し合いが大切

防災について話す際は、いろいろなケースを想定して話し合しましょう。「お父さんが不在時に発生したらこうしよう」「子どもが小学校にいる時は家に戻らず、先生の指示に従う」など決めておくことで、家族間で連絡が取れなくなった場合もどこにいるか確認しやすくなります。

また、最近はロウソクを使ったことのないお子さんもいます。実際に使ってみることで、万一の際に落ち着いて行動できます。



こんな時は
どうしよう？

「家族と防災について話すことはあまりなく、いい機会になりました」とご主人の武志さん。もちろん、発生した時間や災害の種類によって、避難行動は変わってきます。テーマを変えながら何度も話し合ったり、日常会話の中でも意識したりするなど、家族で防災について考えるきっかけを増やすようにしてください。



話し合いが防災意識を高めるきっかけに

田中さんご家族と一緒に 今日から始める“豪雨対策”

防災力を高めるために、普段から準備しておくことは何か。豊富な知識と経験を生かし、自主防災活動の推進に取り組む「県防災活動アドバイザー」の北村裕一さんにご協力いただき、県民レポーターの田中さんご家族とともに、今日から始める豪雨対策について紹介します。

私が
アドバイザー
します



県防災活動
アドバイザー
北村裕一
さん

被災地での活動経験も豊富で、県の防災活動アドバイザーとして、防災学習会などの講師を務めています。

がんばるぞ〜



県民レポーター
田中さん
ご家族
(金沢市在住)

ご夫妻と小学3年生、5年生のお子さんがいる4人家族。防災対策は必要と感じているものの、何から始めたらいいのか思案中。



近所を流れる河川の状況を確認

チェックポイント ③
時には「急がば回れ」
避難場所まで歩いてみよう

水害などの危険が迫った際や大規模地震の発生時には、付近の学校や公民館などが避難場所に指定されています。これらの避難場所まで実際に歩いてみることも、防災力アップにつながります。

「住み慣れた町だから問題ない。避難場所までのルートはよく知っているよ」。そんなふうに考えている人もいるかもしれませんが、普段は問題なく通れる道が災害時には危険箇所に変わってしまうケースが少なくありません。



大雨時には、
こんなケースも
考えられます

川から氾濫した水は、低い位置に向かって一気に流れていきます。また、浸水時には側溝が見えにくく、そこに落ちて流されてしまう事故も考えられます。お子さんの場合、長靴で避難すると水が入ってしまい、逆に歩きにくくなってしまいます。川から下り坂になっている道避け、道の端を歩かないよう気をつけたり、あえて外に出ず、2階に避難したりするなど、状況に応じて安全確保に努めてください。

アドバイザーの
視点

例えば、大雨の場合、河川の状態にもよりますが、氾濫する恐れのある川沿いのルートは避けた方がいいでしょう。アドバイザーの北村さんによると、「あふれた水が流れ込んでくる坂道や、水位が急激に上がる細い路地なども注意が必要ですよ」とのこと。最短ルートが決して最適な避難経路とは限りません。時には「急がば回れ」の視点を持ち、安全に向かえるルートを考えておきましょう。



ハザードマップはホームページから簡単にチェックできます

ハザードマップと
実際の被害エリアが
ほぼ一致

今年7月に発生した西日本の豪雨では、ハザードマップに記された浸水想定区域と実際の浸水域がほぼ一致しました。このように、ハザードマップは危険箇所の把握にとっても有効です。浸水の目安はもちろん、万一の際に助けを求め警察や消防署の場所、避難所へのルートなどをしっかりと確認しておきましょう。

アドバイザーの
視点

ハザードマップ
の一例



ハザードマップは市町のホームページのほか、県や国土交通省のホームページ「わがまちハザードマップ」からも簡単にアクセスできます。田中さんご家族もパソコンで早速チェック。「自宅は川から離れているので大丈夫かなと考えていたのですが、確認すると水深50センチほどの浸水の危険があることが分かりました」（奥様の英理子さん）とのことで、水害に備える必要性を実感されました。

「洪水浸水想定区域図」を
1年前倒しで見直し

全国各地で集中豪雨が頻発していることを踏まえ、県では2016年度から県内28河川の「洪水浸水想定区域図」を、50~100年に一度の大雨を想定したもとのから、1000年以上に一度の大雨を想定したものと見直しを進めています。今年7月までに5河川について新たな区域図を策定しましたが、今年も県内外で豪雨被害が相次いでいるため、改定作業を前倒しして、残りの河川の見直しを当初の予定より約1年早い来年秋までに完了させる計画です。この区域図をもとに市町では、ハザードマップをより早く改定できるようになります。

緊急時にはどうする？
家族でしっかり話し合おう

自然災害に関して日ごろから家族で話し合っておくことも、防災意識を高めるために欠かせません。ハザードマップや防災に関するガイドブックなどをもとに、「緊急時にはどの避難場所に行くのか」「連絡が取れなくな

河川改修と並行して、即効性のある対策にも注力

県では、適切に避難するというソフト対策とあわせて、ハード対策にも取り組んでいます。具体的には、堤防の整備や、川幅を広げるなどの河川改修に取り組み、現在16河川で工事を進めています。

ただ、河川改修などの抜本的な対策については効果が高い反面、完成までには膨大な費用と時間が必要です。そのため、即効性のある対策として、河川に堆積した土砂の除去を2012年度に102河川、17年度に24河川で実施。土砂を取り除いた河川では、今年7月の豪雨の際も河川の氾濫はなく、大きな効果を上げています。こうした「抜本的」と「即効性」の両面からの対策で、集中豪雨による水害などを未然に防ぐ取り組みを進めています。



川幅を広げる河川改修(犀川<金沢市>)

土砂除去前の金腐川(金沢市)



土砂除去後



大雨時の主な防災気象情報

注意報 土砂災害や浸水被害が発生する恐れがある	警報 重大な土砂災害や浸水被害が発生する恐れがある	特別警報 重大な土砂災害や浸水被害が発生する恐れが著しく大きい
危険性		

大雨時の主な避難行動

市町が発令	皆さんの取る避難行動
避難準備 高齢者等避難 開始	気象情報などに注意を払い、避難準備。 高齢者などは避難を開始
避難勧告	避難場所に速やかに避難。 困難な場合は近隣の安全な場所や 屋内で安全を確保
避難指示 (緊急)	避難していない人は緊急に避難。 困難な場合は近隣の安全な場所や 屋内で安全を確保

危険性 ↓

雨量や水位の情報は「石川県河川総合情報システム」で

県のホームページ「石川県河川総合情報システム」では、雨量や水位の情報が危険度に応じて色分けされ、ライブカメラで現在の河川の状況を確認することができます。また、お住まいの地域の気象注意報や警報、雨量や水位の情報のメール配信サービスも実施しています（登録無料）。早めの避難行動に、ぜひご活用ください。

石川県河川総合情報システム



県内河川情報のメール配信
河川総合情報システムホームページまたは左の2次元バーコードからご登録ください。

石川県 河川情報

● 問い合わせ
県河川課 TEL.076 (225) 1736

大雨の際は土砂災害にもご用心

大雨の際は、地盤がゆるんで発生する土砂災害にも気をつけなければなりません。土砂災害には、山や谷が崩れて水とともに一気に下流に流れ込む「土石流」、斜面が崩れ落ちる「がけ崩れ」、地下に浸透した水などで上層の地面が滑り落ちる「地滑り」があります。県では、これらの危険が高い地域を土砂災害警戒区域として指定しています。住んでいる場所がその区域に該当しているかは、「石川県土砂災害情報システム(SABOアイ)」や市役所・町役場の土砂災害ハザードマップで確認できます。

また、SABOアイでは2時間先までの土砂災害の危険度を色分け表示し、10分ごとに更新しています。土砂災害の危険度の高まりをお知らせするメール配信も行っています（登録無料）ので、ご活用ください。



大雨によるがけ崩れの様子（能登町）

石川県土砂災害情報システム(SABOアイ)



土砂災害情報のメール配信
SABOアイまたは左の2次元バーコードからご登録ください。

石川県 SABOアイ

● 問い合わせ 県砂防課 TEL.076 (225) 1751

チェックポイント 6
実際に災害が発生した時はどうすればいいの!?

災害時には、危険が迫る前にいち早く避難行動を取ることが命を守る最善策です。市町から出される避難勧告などに基づ

き、適切な避難行動を取りましょう。ただし、突発的な災害では、避難勧告などの発令が間に合わないケースも考えられます。加えて、浸水で指定される避難場所まで移動できない時は近隣の安全な場所に緊急的に避難したり、外出も危ない状況では自宅

適切な判断で安全確保を第一に

の2階の山から離れた場所に移動したりするなど、その時の状況に応じた判断で安全を確保してください。



チェックポイント 4
すぐに持ち出せる場所に非常持ち出し袋を

懐中電灯や食料、水、携帯ラジオなどをまとめた「非常持ち出し袋」の準備はお済みですか。田中さんご家族も、北村さんのアドバイスを受けながら必要なものをそろえました。非常持ち出し袋を用意する際のポイントの一つが、個人的に必要なものを入れておくこと。持病の薬や赤ちゃん用品、予備のメガネなど、避難生活を送る上で大切なものを入れておきましょう。

また、非常持ち出し袋は、緊急時に使うものですから、すぐに手に取って避難できる玄関やリビング

懐中電灯や食料、水、携帯ラジオなどをまとめた「非常持ち出し袋」の準備はお済みですか。田中さんご家族も、北村さんのアドバイスを受けながら必要なものをそろえました。非常持ち出し袋を用意する際のポイントの一つが、個人的に必要なものを入れておくこと。持病の薬や赤ちゃん用品、予備のメガネなど、避難生活を送る上で大切なものを入れておきましょう。

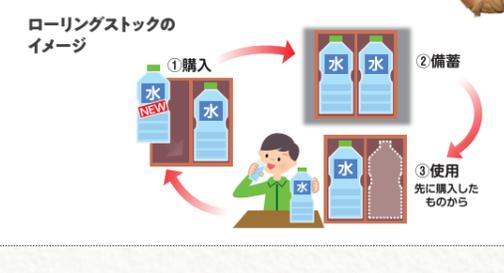


田中さんご家族がそろえたグッズの数々

アドバイザーの視点

非常持ち出し袋を、日常生活で上手に活用

被災時には、保険証や多少の現金が役立つことがあります。持ち出し袋をこれらの保管場所とし、使う際に袋から取り出し、終わったら戻すを習慣づけておけば、万一の際に忘れる心配はありません。お子さんのいるご家庭では、野球ボールや人形などを一つ入れておくことで、子どもは安心して過ごせる場合も。また、水や非常食を定期的に使い、その分を買い足して備蓄するローリングストック法も有効です。日常的に使うため、賞味期限が切れていざという時に使えない事態を防ぐことができます。



使っていたザックを持ち出し袋として活用すること。奥様の英理子さんは、「これなら普段、人目につく場所に置いてあっても違和感はないですね」と、うれしそうに話してくれました。



グなどに置いておくことも大切。使うのは専用のものではなく、家にあるリュックやサックなどでも構いません。田中さんご家族は、ご主人が趣味の登山で

非常用持ち出し品リスト(一例)

- 携帯電話、貴重品（現金、保険証、通帳、印鑑など）、飲料水、携行食（乾パン、缶詰など）、懐中電灯、携帯ラジオ、ビニール・ポリ袋、タオル、トイレトペーパー・ウエットティッシュ、携帯カイロ、常備薬・持病薬、衛生・生理用品、応急医療用品、笛、ガムテープ、ライター類、ラップ・アルミホイル、筆記用具・メモ帳、万能ナイフ、防寒具、軍手・手袋、簡易トイレ、簡易食器
- ※必要に応じて、赤ちゃん用品（おむつ、離乳食など）、高齢者用品（入れ歯など）を用意する。
※このほか、災害後に役立つため、飲料水（1人1日 3L×7日分）、食料（7日分）、車上コンロなどを自宅に備える。



防災士が講師となり、段ボールで簡易トイレの作り方を指南

● 問い合わせ 県政出前講座：県広報広聴室
TEL.076 (225) 1362

チェックポイント 5
隣近所との結び付きが万が一の際に大きな力に

大規模災害では、地域の人が力が発揮します。日ごろから地域の行事に参加したり、あいさつをしたりするなど、地域のネットワークを築くように心がけてください。

県では、さまざまな施策について、担当者が皆さんのところに伺い、説明する「県政出前講座」を実施しています。今年9月からは、そのテーマに「水害・土砂災害から身を守るために」が加わりました。共助意識を高めるためにも、ぜひご利用いただければと思います。

自主防災組織強化に向けて、防災士数を倍増の8000人に

共助の要となるのが、町会などでつくる自主防災組織です。県では、そのリーダーとなる防災士を、2016年度までに1町会1人に相当する4000人育成し、さらに災害時の体制を強化するため1町会2人に相当する8000人への倍増を目指しています。

また、授乳や着替えの場所への配慮など、女性が安心して過ごせるような視点も大切です。女性防災士についても、現状の1避難所1人に相当する1000人から1避難所2人に相当する2000人への倍増を目指し育成に取り組んでいます。



全国で最も手厚い補助制度で住宅の耐震化をサポート

耐震改修工事費用の補助を大きく拡充

近年は2016年の熊本地震など大きな地震があり、今年も大阪北部の地震、北海道胆振東部地震が起きるなど、地震はいつどこで発生してもおかしくありません。にもかかわらず、「石川県では大きな地震は起こらない」と考えている人はいないでしょうか。当然、

耐震化の流れ



● 問い合わせ 県建築住宅課 TEL.076 (225) 1777
※補助の申込先は市町となります。詳細は、お住まいの市町の担当課までご連絡ください。



普及啓発に向け、住宅耐震に関するイベントを実施

そんなことはありません。約10年前には能登半島地震が発生しましたし、県内には森本・富樫断層帯や邑知断層帯が走り、今後30年以内の地震発生確率は全国の主な活断層の中でも高いと言われてい

ます。大きな地震により亡くなった方の原因の多くは建物の倒壊です。実際、1995年の阪神・淡路大震災では約9割、2016年の熊本地震では約8割の方が建物の倒壊で命を落としています。

県と市町では連携して住宅の耐震化を促進しています。今年度からは、1981年以前に建てられた住まいに対する耐震改修にかかる費用の補助額を、従来より大きく拡充し、150万円としました。これは住宅面積が広く、改修費がかさむ石川県の実情を反映したものです。また、耐震診断を原則無料とするなど、全国で最も手厚い補助制度を設けています。

市町や関係団体と協議会を発足

さらに、住宅の耐震化を普及・啓発していくため、今年7月には、県内19市町や事業者団体などと連携し、「いしかわ住宅耐震ネットワーク協議会」を設立しました。協議会では、補助制度のPRに加え、耐震改修を考えている方への相談会や耐震改修を行う事業者を対象とした講習会の開催、費用や期間を抑え、住みながら改修できる低コスト工法の普及などを進めています。

住宅の耐震化に関する補助制度を活用し、大切な生命を守るため、ご自宅はもちろん、離れて暮らすご家族のお住まいの耐震改修もぜひご検討ください。

2月の大雪を教訓に 関係機関との連携を強化

大雪対策に取り組み 対策会議が発足

今年2月、強い寒気の影響で北陸地方では記録的な大雪となり、県民生活に大きな影響が出ました。中でも、石川・福井県境の国道8号では、北陸自動車道の通行止めで集中した車両による渋滞や、降り積もる雪で動けなくなる車両が相次ぎ、最大約1500台



2月の大雪では夜を徹して除雪作業を実施

が立ち往生し、3日間にわたって通行止めになりました。また、6日から8日までは、JR北陸本線で終日運休、小松空港で全便欠航となり、物流や観光、ビジネスなど多方面にわたって大きな支障が出ました。

こうしたことを教訓に、安全で円滑な交通の確保に向け、4月には国や県、中日本高速道路など関係機関が参画し、「国道8号冬期道路交通確保対策会議」が発足。今冬からは福井県などと連携し、県境の除雪強化に取り組みます。加えて、県では、JR西日本、小松空港を管理する国土交通省に対して、利用者の利便性も踏まえ、雪への対策を強化することを要請し、安全・安心な交通手段の確保に努めています。

防災タウンページに独自の情報を追加

県では、県民の皆さんへの雪害対策への意識向上にも力を注いで

4月に国や中日本高速道路などとともに対策会議を発足



に備えるポイント」や「除雪中の事故防止のための10か条」など、県独自の防災情報を追加し、県内全世帯・事業所に配布しました。運転免許更新時に配布する安全運転の小冊子にも、「大雪等の災害時の心構え」を盛り込むなど啓発

しています。その一環として、NTTタウンページが発行する「防災タウンページ」に、「大雪

活動を推進しています。県では、道路画像や積雪・気温の状況が確認できるホームページ「石川の雪みちナビ」も公開。積雪時に車を運転する際の参考として、ご覧ください。

「石川の雪みちナビ」※スマートフォン用画面



石川の雪みちナビ 検索

● 問い合わせ
石川の雪みちナビ：県道路整備課
TEL.076 (225) 1727

大雪に備えるポイント

- 1 不要不急の外出は極力控える
- 2 除雪作業中の事故は油断している時に起きている。慎重かつ安全な除雪作業を
- 3 長期停電や物流の途絶に備え、食料や灯油等を備蓄する

除雪中の事故防止のための10か条

- 1 作業は家族、隣近所にも声かけて2人以上で
- 2 低い屋根でも油断は禁物
- 3 建物の周りに雪を残して雪下ろし
- 4 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に
- 5 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんで
- 6 忘れずに！ 命綱とヘルメット
- 7 はしごの固定を忘れずに
- 8 除雪道具はこまめに手入れ、点検を
- 9 エンジンを持ってから！ 除雪機の雪詰まりの取り除き
- 10 携帯電話の携行を忘れずに

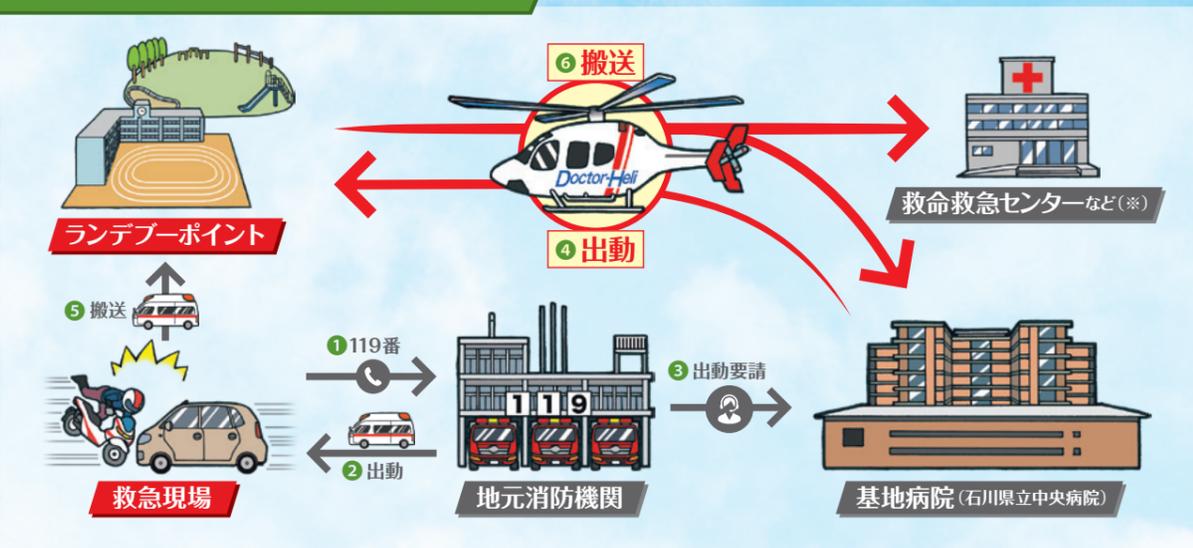
地震に備えて防災力UP

住宅の耐震化だけでなく、家具のチェックもぜひ行ってください。ベッドの近くにタンスや本棚などを置いていないか、家具が倒れないよう固定しているかなど、就寝中に大きな揺れに襲われても命を守るように、しっかりとした安全対策を実施しましょう。



地震が起きた時には建物倒壊がとて危険

石川県ドクターヘリ運航のイメージ



要請に応じ直ちに出勤
(写真は訓練の様子)

ヘリ到達時間



1秒でも早く、救急現場へ! 石川の空をドクターヘリが飛ぶ

迅速な出勤に備え 毎日スタンバイ

県民の安全・安心な暮らしを支える上で欠かせないのが、医療の充実です。県では、救急医療体制を強化するため、9月24日から県立中央病院を基地病院としてドクターヘリの運航をスタートしました。ドクターヘリは、救急医療に必要な機器や医薬品を装備した専用のヘリコプターで、医師と看護師が同乗して現場に向かい、いち早く救命措置を開始できるのが特徴です。

ドクターヘリは荒天時を除く毎日運航します。日中、県立中央病院の屋上ヘリポートに待機し、消防機関からの要請を受けると直ちに医師などが搭乗し、離陸します。出勤エリアは県内全域で、巡航速度は時速約200キロ。基地病院から最も遠い舳倉島へも約40分で行くことができます。

患者を引き継ぎ 救急病院へ搬送

県では、ドクターヘリの運航にあたり県内560カ所にランデブーポイント(下記参照)を設定しました。最寄りのランデブーポイントに着陸したドクターヘリは、救急車から患者を引き継ぎ、救命措置を行いながら県立中央病院をはじめ県内の救命救急センターなど(※)に搬送します。機体は7人乗りで、患者だけでなく、必要に応じて家族が同乗することも可能です。

重篤な患者への対応は、わずかな時間の差が患者の生死や後遺症の程度にかかわることが少なくありません。県では、患者への早期救命措置や搬送時間の短縮ができるドクターヘリの運航で、患者の救命や後遺症の軽減に大きく貢献できるものと考えています。

●問い合わせ
県地域医療推進室
TEL:076(225)1449

※県立中央病院のほか、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、金沢医療センター、公立能登総合病院、恵寿総合病院、小松市民病院

ランデブーポイント について

学校、公園、運動施設周辺の皆さまへ
円滑な運航にご協力ください

ランデブーポイントはドクターヘリと救急隊が合流し、救急患者を引き継ぐ場所のこと。ヘリが離発着できるよう、救急車両が乗り入れ可能で、ある程度の広さがある学校グラウンドや公園、運動施設を中心に選定しています。離発着時にはヘリから吹き下ろす強い風が発生します。安全確保のため、現場には近寄らず、また、飛ばされやすいものは室内にしまい、窓を閉めるなど、必ず消防隊員の指示に従ってください。周辺にお住まいの方や施設利用者の方にはご不便をかけることもあるかと思いますが、安全かつ円滑な運航のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

インタビュー

南北に長い石川県は 大きな効果が期待できます

ドクターヘリは、事故による外傷をはじめ、心筋梗塞や脳卒中などを想定し、運航しています。これらの状態に陥った時は、一刻も早く医療行為を開始できるかどうかを命を左右する機会が少なくありません。さらに、1分でも早く医療機関に搬送することができれば、後遺症の軽減にもつながります。

南北に長い石川県は、ドクターヘリによる時間短縮効果が特に大きく表れる地域だと考えられています。県内全域に安全・安心な医療を提供するために、円滑な運航に努めます。



県立中央病院
救命救急センター長
明星 康裕さん

基地病院 石川県立中央病院

金沢市鞍月東2丁目1番地/TEL.076(237)8211(代)

ドクターヘリの基地病院となるのは、今年1月に新たに開院した県立中央病院。屋上のヘリポートからは直通エレベーターで救命救急センターや手術室、集中治療部門へと患者を迅速に搬送できます。



私たちも
いしかわジビエ
をおすすめします

豚肉と同じように
和洋中でご賞味あれ

フランス料理では、昔からジビエはよく使われている食材です。当レストランでも以前は、イノシシ肉はフランスなどから輸入していましたが、今は地産地消の視点からも地元産を使っています。

もしかしたら、イノシシ肉と言うと、「臭い、硬い」というイメージをお持ちの方はいないでしょうか。決して、そんなことはありません。とりわけ、県内の処理施設で扱うイノシシ肉は衛生管理を徹底し、品質向上にも努めています。食べてみると、味わいに野生の獣肉ならではの透明感があり、とてもおいしいですよ。イノシシ肉は、ご家庭で調理する際にも難しく考えなくて大丈夫。豚肉と同じように、和洋中のお好きな料理で、味わってみてください。



株式会社ぶどうの木
総料理長
米田 岳人さん
(金沢市)

捕った命を大切に
余すことなく活用を

羽咋市の処理施設ができた2015年から、イノシシの解体処理を担っています。当施設で扱う頭数は年々増えていて、今年は400頭ほどを処理し、ジビエとして出荷する見込みです。施設内の温度設定を年間15度に統一するなど、品質の管理は徹底しています。道の駅のと千里浜などで扱っていますので、ぜひ一度、試していただければと思います。

一方で、処理施設で食肉となるのは、重量にして40%ほど。残りの皮や骨などは廃棄物として捨てているのが実情です。そこで、私たちは革製品を試作したり、肥料化したりするなどの取り組みを進めています。命を大切にするとともに、廃棄物としての処理費用を抑えることで、一層の安定供給につなげていきたいと考えています。



合同会社のとし団
代表
加藤 晋司さん
(羽咋市)



いしかわジビエのおいしさを伝えるため、レシピ集を作成したり、料理教室を開催したりしています



もちろん、いしかわジビエは味も絶品です。野山を駆け回ったイノシシはかむほどにうま味がにじみ出る赤身と甘みを感じる脂身が特色で、県ではそのおいしさをより多くの人に知ってもらうためのPRに力を入れています。例えば、その一つが3年前から毎年開催している「いしかわジビエ料理フェア」です。今年は2〜3月の期間中、県内の飲食店や道の駅など88店が参加し、和

フェアや教室開催で
おいしさをPR

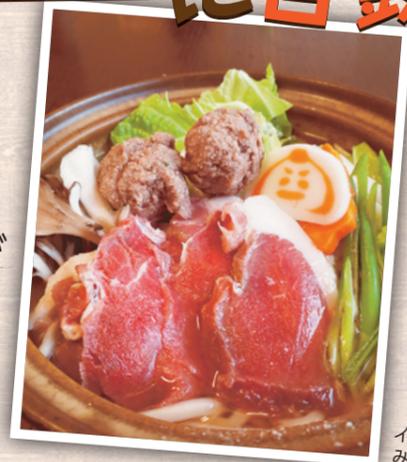
洋中の多彩な料理を提供しました。来年も開催を予定していますので、ご期待ください。
ほかにも、県内の人気シェフが講師を務める料理教室なども開催されています。イノシシ肉は豚肉に比べて鉄分が約4倍、ビタミンB12が約3倍と栄養価も抜群。ジビエを使った料理は日本最大のレシピサイト「クックパッド」でも公開されていますので、皆さんもぜひ一度、作ってみてはいかがでしょうか。

●問い合わせ
県里山振興室 TEL:076(25)1631

新たなふるさとグルメ いしかわジビエに舌鼓

実りの季節を迎えた石川県には、おいしい山海の幸がたくさんあります。そんな美食に恵まれた県民の皆さんにも、自信を持っておすすめしたい新たなふるさとグルメが「いしかわジビエ」です。

石川の里山が育てた深い味わいを、ぜひお試しください。



イノシシのみぞ鍋うどん

増えるイノシシを
魅力ある食材に活用

ジビエとは野生鳥獣の食肉を意味するフランス語のこと。中でも、いしかわジビエで主に活用されるのはイノシシです。県内では繁殖力の高いイノシシによる農作物被害が広がり、それを防ぐために捕獲頭数は年々、増え続けています。そこで、県では、イノシシを駆除するだけでなく、魅力ある食材として生かす取り組みを行っています。

県内では、おいしいジビエの提供を目指すための環境も整いつつあり、2011年〜16年にかけて七尾市羽咋市・金沢市・白山市に合計5カ所の獣肉処理施設が誕生しました。衛生管理を徹底しながらスピーディーな下処理を行い、安全で良質なイノシシ肉をお届けしています。流通する県産イノシシは増加傾向にあり、17年度は前年比1.4倍の1102頭が獣肉として処理されています。以前は一部のレストランでしか味わえなかったジビエですが、今ではスーパーマーケットや道の駅などでも販売され、一般の方にも手に入りやすい食材となっています。



さっぱりとしやぶしやぶで



ハムやベーコンなどにも活用

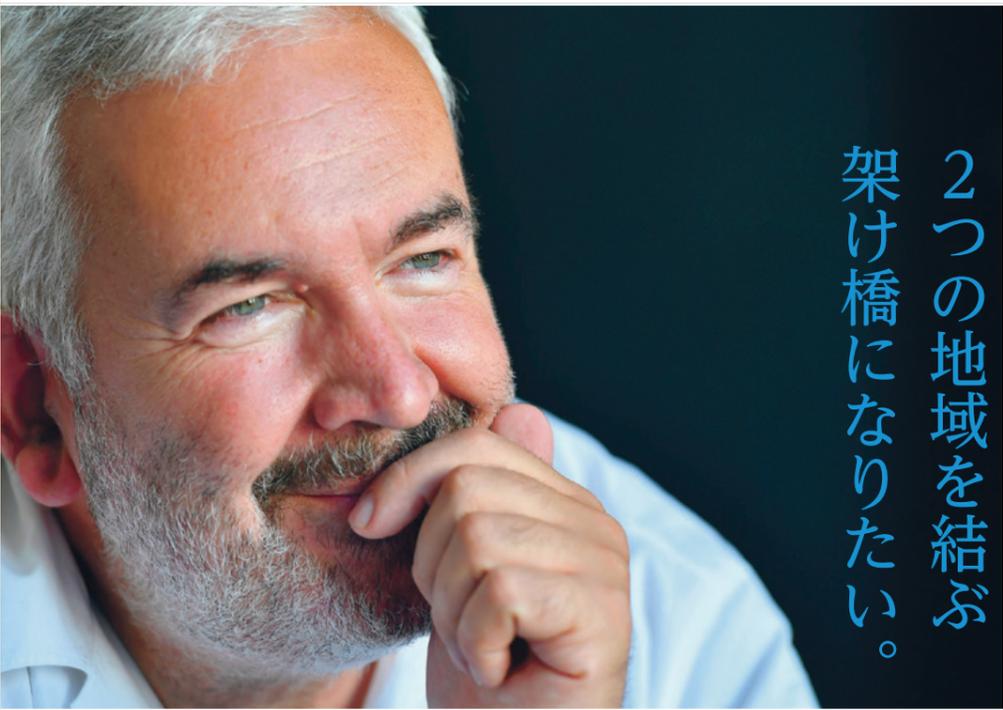


食べ応えのあるイノシシ肉のステーキ

今年9月、オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)の芸術監督に、フランス・ボルドー国立歌劇場総監督で、世界で活躍する指揮者のマルク・ミンコフスキさんが就任しました。OEKの新たな顔となるミンコフスキさんに、就任にあたっての抱負や石川県の印象などを聞きました。

ボルドーと石川、

2つの地域を結ぶ 架け橋になりたい。



オーケストラ・アンサンブル金沢芸術監督

マルク・ミンコフスキさん

”個性”を磨くこと それが私の役目

この9月から、初代音楽監督の故岩城宏之さん、後任の井上道義さんとなつてきたOEKのバトンを受け継ぎました。「芸術監督」という役職は、大変光栄に感じてはいますが、負いは全くありません。あくまでも自然体のまま、かかわっていただければと思っています。

なぜなら、OEKには結成30年の実績があるからです。OEKの演奏レベルはとても高く、ワールドクラスとなる可能性は十分にあります。ただ、世界中どこを見回しても何もかも完璧なオーケストラは一つもありません。逆に言えば、完璧でないからこそ楽団の個性が表れるわけであり、OEKにとつても、これからのようなアイデンティティーを確立していくのが最も大切です。

確にしていけることができると考えています。

日本を感じた 茶屋街でのお座敷体験

振り返ると、私が初めてOEKでタクトを振ったのが2012年7月のことです。この時、石川県に来てまず向かったのが金沢公園と長町武家屋敷跡でした。夜11時ごろ、小雨の降る中を歩いた城下町に、フランスの古城の雰囲気似た情緒を感じたことをよく覚えています。

化・芸術の中心地の一つです。今後は、歌劇場で企画したオペラやバレエなどのプロジェクトも、OEKとともに、石川をはじめとした日本の皆さんにどんどん紹介していきたいと考えています。もしかしら、OEKで制作したオペラをボルドーで公演することもあるかもしれません。このように、石川とボルドー、2つの地域を結ぶ架け橋になる活動ができれば、私自身、とてもうれしいですね。



7月には日仏劇場間共同制作によるドビュッシーのオペラ「ペレアスとメリザンド」を県立音楽堂で上演

紅葉がピークをすぎ、兼六園では11月から風物詩の雪吊りが始まっています。湿気を含んだ北陸特有の重い雪から樹木を守る先人の知恵ですが、振り返ると、今年は本当に自然災害の多い年だったように思います。

2月上旬の大雪に始まり、7月の西日本の豪雨、8月には能登が大雨に見舞われました。また、台風が頻繁に日本を直撃し、大地震が6月に大阪府北部9月に北海道を襲いました。熱中症による死者が相次いだ猛暑も、そのひとつと言えるかもしれません。

「数十年に一度」と言われる自然災害がこうも続くと、「毎年やって来る」と用心したほうがいいように思います。その意識が、万一の備えと機敏な対応にもつながります。

今年の大雪では、北陸新幹線は通常どおり運行されましたが、それ以外の道路、鉄道、航空の交通網が寸断され、数日間、あわや陸の孤島といった状態に陥りました。特に、県境に近い国道8号の福井県側で、約1500台が3日



今や「数十年に一度」は 毎年ある「との用心で」

間にわたり、立ち往生した件では、北陸自動車道との連携がうまくできていたら、あのような大渋滞は避けられたかもしれません。

災害時にまず重視すべきは「安全確保」ですが、すべてマニュアルどおりにやればいいわけではありません。安全を十分見極めながら、その場その場で柔軟に運用する臨機応変こそ重要です。県としても今回の大雪を教訓に、関係機関との連携をさらに密にして今冬に備える決意です。

同時に、除雪では、地域における共助がとても大切です。私の住む町会では、皆さんが懸命に道路の除雪をしてくれたおかげで、歩行者も車も支障なく通行することができました。私もスコップを持って実感したのは、「積もって重くなってからでは腰を痛めるから、とにかくこまめに」でした。

近年、空き家の増加などで、共助が難しくなっているのも事実ですが、枝折れを防ぐ雪吊りのように、雪のシーズン前に地域で支える共助のネットワークづくりについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

smile 石川のボランティア

ほほえみ

松波ふれ愛会 (能登町)

地域の65歳以上で 楽しい時間を共有 園児との交流も企画

「月に1度の活動日が本当に楽しみです」。松波ふれ愛会の魅力は、こう話す代表の美多^{みた}侑子さんの生き生きとした笑顔にはつきりと表れています。現在、ふれ愛会には能登町松波地区の65歳以上の女性27人が参加し、歌ったり、ウォーキングをしたり、お花見やバス旅行に出かけたりと、毎月さまざまな企画を実施しています。

美多さんによると、どのイベントも、和気あいあいとした雰囲気と会員の笑い声に包まれる点はいつも共通しているのだとか。「私もそうですが、



松波ふれ愛会は結成から約13年。「これからももっともっと楽しい会にしていきたいですね」と美多さん(写真後列右端)

連れ合いに先立たれ、今は一人暮らしをしている仲間もいます。会の活動が外に出かけ、地域との交流を深めるきっかけにもなっています」(美多さん)とのことで、充実したシニアライフを送る上で、ふれ愛会の果たす役割はとても大きいそうです。

また、会では地元の松波こども園との交流活動にも積極的。園児と一緒にゲームをしたり、お散歩に出かけたりの世代を越えたふれあいも、会員にとつて、かけがえのない楽しい時間になっています。



昨年は園児と地元の旧松波城庭園を散策しました

問い合わせ
松波ふれ愛会
会長：美多侑子
TEL. 0768 (72) 2322 (能登町社会福祉協議会)



子どもたちの才能あふれる1日!

いしかわ ジュニアアートステージ 2018

開催日 **12月9日** 日

場所 **県立音楽堂**
金沢市昭和町20-1

さまざまな文化活動に青春をかける子どもたちが主役の「いしかわジュニアアートステージ2018」を開催します。県内トップレベルで活躍中の子どもたちによるステージ発表や作品展示など、多彩な芸術・文化に触れられる貴重な機会です。子どもたちをはじめ多くの方のご来場をお待ちしています。

● 問い合わせ | 県文化振興課 TEL.076(225)1371

ステージ発表 [邦楽ホール14:00~16:20 予定]

● 入場無料・要事前申込 ● 定員:720人(先着順)

- 出演者: 全国大会やコンクールで優秀な成績を収めた小学生から高校生までの個人・団体
- 分野: 第1部「和」: 箏曲、三味線、民謡、和太鼓
第2部「洋」: 洋舞、ピアノ、合唱、吹奏楽
- 講評: 池辺 晋一郎氏 (県立音楽堂洋楽監督、作曲家)
児玉 信氏 (県立音楽堂邦楽アドバイザー)
- 司会: 青島 広志氏 (作曲家、ピアニスト)

※観覧申込: 下記のHP、または下記問い合わせ先からお申し込みください。



池辺 晋一郎氏 ©東京オペラシティ文化財団 撮影:武藤章
児玉 信氏
青島 広志氏

作品展示/交流 [交流ホール9:00~17:30 予定]

● 入場無料・申込不要

- 全国高等学校総合文化祭に出品された絵画、書道、写真などの優秀作品の展示や子ども対象の体験などを実施
 - 書道や生け花のパフォーマンス (10:00~11:00)
 - 書道や生け花の体験、似顔絵制作 (11:15~13:30)
- ※各体験は定員あり(先着順)

ホームページ www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/

広告

私にとっての豊かな老後とは、 子どもに迷惑かけずに生きることです。



ワオリティ・シニアマンション スプリングライフ金沢 三谷商事グループの介護付有料老人ホーム



- 「天然温泉」※1 朝昼晩、24時間体制での掛け流しの大浴場と露天風呂。メニューを選べるお食事をご予約不要で毎日ご用意。※2 終身介護を実施。※3

資料請求・ご見学・体験入居のお問い合わせは

0120-132-871

スプリングライフ金沢 検索 パンフレットをお送りします▶

- ゆとりの「一般居室」と安心の「介護居室」
- 24時間の介護・看護体制。※3
- 終身介護をお約束。※4 介護居室への住み替え費用も不要。
- 経験豊富なスタッフ&充実した共用施設。

※1 天然温泉: (泉質) ナトリウム・カルシウム塩化物強塩泉 (効能) 神経痛、関節痛、冷え性、慢性婦人病等当ホームの天然温泉は、泉温が高いので井戸水を加水しています。※2 写真は実際のお料理の一例です。※3 夜間時(17:30~翌8:30)は看護職員1名・介護職員2名(最少人員各1名ずつ)の配置となります。※4 入居者の行動が、他の入居者又は、従業員の生命に危害を及ぼし、又は、その危害の切迫した恐れがあり、かつホームにおける通常の介護方法及び接遇ではこれを防止することができないときは、契約解除となる場合がございます。

事業主体/スプリングライフ金沢 株式会社 ※当社は三谷商事グループの100%出資による会社です。

石川県金沢市栗崎町4丁目80番地2 Tel.076-238-8000 Fax.076-237-2323 <http://springlife.jp/>
(公社)全国有料老人ホーム協会 正会員 石川県指定介護保険特定施設(一般型特定施設)/石川県指定第1770100012

前略 石川県知事

県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて
TEL.076(225)1362 FAX.076(225)1363

ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。県外在住のご協力者を紹介してください。

● 問い合わせ
石川県県民交流課 TEL.076(225)1361
www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/